

所在地：大分県別府市 選定年月日：平成24年9月19日 面積：45.7 ha 選定基準：二一((五)(六))

(1) 概要

別府市では、西部の火山帯から東部の別府湾に向けて広がる火山麓扇状地に、豊富な温泉資源を活用した生活・生業のあり方を示す文化的景観が展開します。高温の沸騰泉はそのまま利用することができず、気液分離装置によって温泉水と温泉蒸気とに分けられ、温泉水は配管を通して集落へ、温泉蒸気は「湯けむり」として空中に高く放出されます。

別府古来の自然湧出泉による温泉地は「別府八湯(はつとう)」と総称され、近世後期までは農閑期を中心に周辺の地域から湯治客を集めました。近代になると、別府港の築港、鉄道・道路の整備により観光客が増加し、別府は一大観光都市へと発展しました。

中でも鉄輪(かななわ)温泉・明礬(みょうばん)温泉では、近世の旅籠・木賃宿に起源を持つ宿泊業が現在も旅館・貸間として継続しており、住民が組合制の下に管理・運営している共同浴場等とともに、地域生活における顕著な温泉水の利用が見られます。また、近世の史料に記録される地獄釜(じごくがま)の蒸し料理は現在でも行われているほか、明礬温泉では、石敷きの床に青粘土を敷き詰めた藁葺き小屋で湯の花が製造され、入浴剤として販売されるなど、温泉蒸気の利用も特徴的です。

このように、別府の湯けむり・温泉地景観は、扇状地の随所から立ち上る湯けむりの下で営まれる、温泉資源の多面的な利用のあり方を示す文化的景観です。



鉄輪地区全景



別府石の石積みが発達する明礬地区

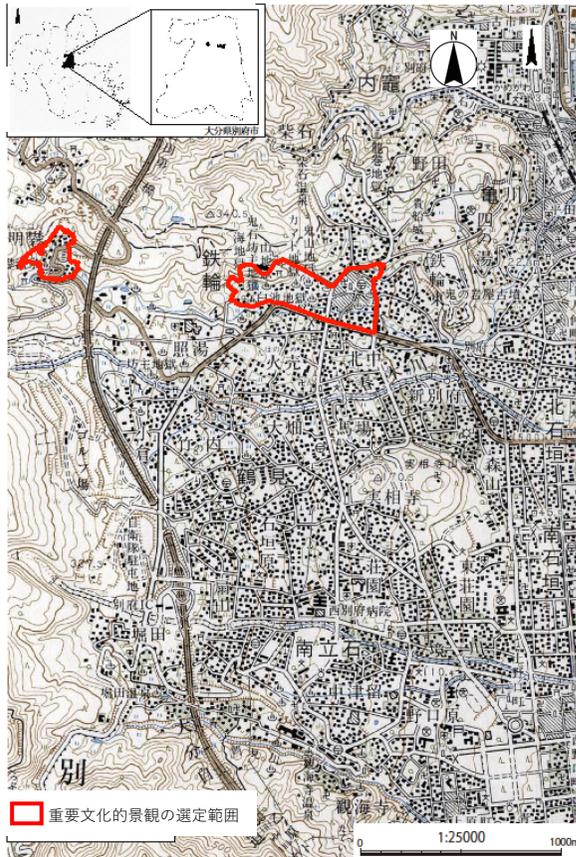


貸間旅館が並ぶ鉄輪地区



湯の花製造小屋

(2) 選定範囲



- 重要な構成要素：52件
- 国指定等文化財：別府明礬温泉の湯の花製造技術（無形民俗文化財）、別府の地獄（名勝）、別府の湯突き用具（登録有形民俗文化財）

(3) 選定による効果

重要文化的景観の選定により、地域に暮らす人々が、自分たちの住む土地についての理解を深めたり、新たな魅力について気が付くきっかけとなりました。

重要文化的景観の選定範囲における開発行為等については、選定時の風景を守りながらも市民生活の利便性向上を図っていく必要があります。また重要文化的景観としての価値を保ちつつ必要に応じて修理や修景などを行い、より価値を高めていける取り組みを行います。



湯けむりが上がる道路



劣化した湯の花小屋の修理作業

(4) 保存活用計画などの基礎情報

- 別府市景観計画（平成20年3月）
- 鉄輪温泉地区温泉湯けむり重点景観計画策定（平成21年3月）
- 湯けむり景観保存管理のための専門調査報告書（平成21年3月）
- 文化的景観 別府の湯けむり景観保存計画策定（平成24年1月）
- ホームページ
https://www.city.beppu.oita.jp/gakusyuu/bunkazai/yukemuri_k_eikan_index.html

(5) 活用事例

事例44-03 ①

海外からの観光客にも好評のパフレット、普及啓発を深めるパネルや動画の作成・活用

文化庁補助金

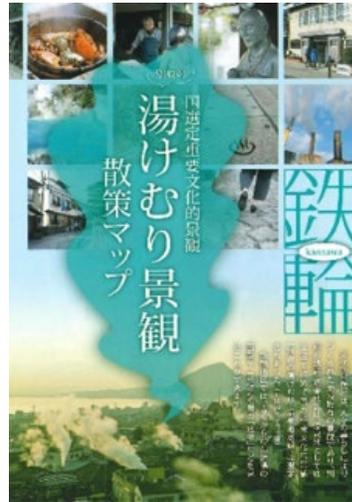
●行政による取り組み

別府の湯けむり景観散策マップを作成し観光案内所などで配布し、好評を得ています。リーフレット1冊に鉄輪地区・明礬地区の重要文化的景観について易しくも詳しくまとめています。また海外からの旅行客向けに英語版も作成しています。

観光案内所の方によると日本語版・英語版ともに設置と同時に手に取る方が多く、すぐに無くなってしまいうそうです。マップ片手に鉄輪・明礬地区の両方を訪れている方が多いと思われるます。

また、展示パネルやロールアップバナー、重要文化的景観の動画を作成し、地域での出前トークや学校などでの出前講座で重要文化的景観を紹介する際に活用しています。

市民にとっては身近な湯けむりの風景や温泉ですが、講座などの受講後に「まだまだ知らなかったことがある」といった感想を聞くことが多くあり、普及啓発の効果的を感じています。



別府の湯けむり景観散策マップ（日本語版、英語版）



湯の花小屋修理事業動画



展示パネルとロールアップバナーによる説明

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 確保と
運用

⑥ 人づくり・

(5) 活用事例

事例44-03 ②

体験の提案・提供によって、魅力や歴史を伝える地域の活動

●住民や団体等による取り組み

鉄輪地区では鉄輪ツーリズムによるホームページが作成されており、鉄輪での過ごし方、鉄輪周辺のお店の紹介、体験の案内が行われています。

「鉄輪温泉 湯けむり散歩」、「鉄輪温泉 ゆうぐれ散歩」はNPO法人鉄輪湯けむり倶楽部により開催されており、鉄輪ツーリズムのホームページ内でも紹介されています。ボランティアガイドによる案内で鉄輪の歴史や魅力を観光客だけではなく地元の人にも伝えています。

明礬地区では毎年、「明礬温泉湯の花製造技術保存会」主催の湯の花教室を開催しています。普段なかなか入ることができない湯の花小屋で湯の花採取体験、青粘土設置体験や湯の花に関する実験や歴史を学びます。

参加者からは、「貴重な体験ができ、技術を生で見ることができてとてもいい機会だった」などの声が多く無形民俗文化財に指定されている技術や湯の花製造の歴史を伝える機会となっています。



鉄輪ツーリズムホームページ



団体等情報：鉄輪ツーリズム

<https://kannawaonsen.com/>

明礬温泉湯の花製造技術保存会による「湯の花教室」

湯の花教室参加者の声

- ・明礬の歴史から湯の花の誕生まで知ることができました。
- ・改めて別府の良さを知りました。
- ・湯の花をつくる大変さがわかりました。

団体等情報：明礬温泉湯の花製造技術保存会

① 地域内での
魅力の共有② 活性化の
共有③ 広域外への
広報④ 魅力を引き
出す⑤ 財源の
運用

⑥ 人づくり